～アジアから、世界から～

カンボジア旅行について 2

髙橋　亮

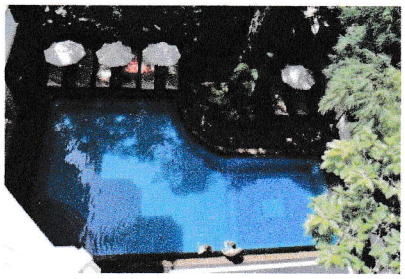
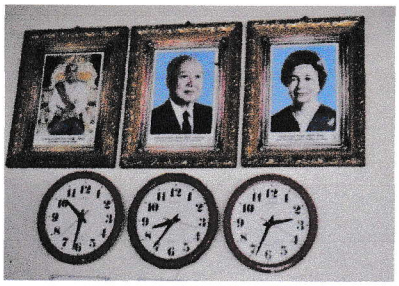
こんにちは。お久しぶりです。カンボジアについての第二回です。よかったら、お付き合いくださいませ。

トゥクトゥクの話をしたかもしれませんが、今回はカンボジア国内に到着してからの話をしたためてみようと思います。シェムリアップという、カンボジア国内の空港に到着したのは、夜遅く、23時を少し回ったころだったかと思います。気候は、日本の夏にお馴染みの、湿気を帯びた空気が支配する暑さが充満していました。ホテルまでの移動手段をどうするか、ということになって、最初タクシーを検討していたのですが、トゥクトゥクのほうが安いということで、ちょうど萩森先生が、地元のお兄さんを呼んできてくれたので、トゥクトゥク初体験をさせていただきました。

最初は、ガイドブックにいろいろトラブル事例が載っていたので、かなり緊張しながらトゥクトゥクに乗りました。バイクタクシーは、生温かい空気のなかを、車の合間などを縫って快走して、知らない間に、滞在先のカーサ・アンコールホテルに到着しました。運転手のお兄さんは、

「あすの仕事がないから、明日はガイドをやらせてくれ。」

と先生と交渉していましたが、お断りしてホテルにチェックインしました。ホテルは、料金が安い割にプールまである（右、写真）豪華なホテルで、綺麗でした。私たちの部屋は４階にあり、１日目はすぐに床につきました。



二日目は、取り敢えず現地に詳しいガイドを探しに行こうということになって、カーサ・アンコールホテルのまわりを散策していました。シェムリアップの街は、とても車やバイクの交通量が多く、雑然としていたように思います。丁度近くの公園に、観光案内所らしき建物があり、入ってみました。中には、５人ぐらいの人々がいて、左端の男性に私と萩森先生が話しかけました。その方は、あまり日本語が堪能ではないようでしたが、どうやら英語が分かるようだったので、私と萩森先生が片言の英語で日本語がわかる現地のガ